

「信州学び円卓会議 ともつくミーティング」の報告について

教員養成機関（信州大学）×保護者団体（長野県PTA連合会）

実施日時	会場	概要
7月15日（火） 9:00～10:30 10:40～12:10	信州大学 松本 キャンパス	目的：教員を目指す学生と保護者団体が対話する場をもち、お互いの考え方や想いを知ることで相互理解を深め、保護者と教員の良好な関係構築につなげるために開催 内容：①基調講演：テーマ「学校と保護者の関係について」 講演者：県PTA連合会会長 ②学生と保護者（PTA）とのグループワーク ※松本大学でも令和8年2月下旬に実施予定
10月15日（水） 15:00～17:00	信州大学 教育学部	

働き方改革（学校及び教員の本来あるべき業務や、業務負担を減らすために）

8月6日（水） 13:00～16:00	松本市立 博物館	目的：県教育委員会で、7月3日に多様な立場の関係者を集めて、学校現場の業務実態に係る意見交換を行い、子どもの学びをみんなで支える機運を醸成する「子どもの学びをトコトン支える県民の会」第1回会議が行われたことを受け、教育関係者など幅広く県民の皆様にも、学校（教員）を支えるために、何ができるかを考えるために開催 内容：①「子どもの学びをトコトン支える県民の会」第1回会議の振り返り ②グループワーク：学校（教員）を支えるために、私たちに何ができるかを考える
9月24日（水） 18:00～20:00	オンライン	目的：県教育委員会主催の「子どもの学びをトコトン支える県民の会」で議論を行った、「子どもの学びを支えるための学校の業務改善」に向けた県の取組に対する理解促進や、学校や教員の業務負担を減らすために何ができるのかを考えるために開催 内容：①県教育委員会の教員の働き方改革の取組紹介 ②グループワーク：学校の業務負担軽減に向けた県教育委員会の施策を活かし、共にできることを考える

フリースクール・居場所団体（信州フリースクール居場所等運営者連絡協議会）×保護者団体（長野県PTA連合会）

11月30日（日） 14:00～16:00	松本市浅間 温泉文化 センター	目的：フリースクール・居場所団体と保護者団体が対話し、お互いの考え方や立場を知ることで相互理解を深め、「一人ひとりの子どもを支えるためにできること」を考えるために開催 内容：①各団体代表者から現状と課題について説明 信州フリースクール居場所等運営者連絡協議会代表・県PTA連合会会長 ②グループセッション：相互理解を深めるワークを通じて、団体や個人の垣根を越え、一人ひとりの子どもを共に支えるために何ができるかを考える
--------------------------	-----------------------	--

2025.10/15 信州学び円卓会議 ともつくミーティング

(長野県の子どもたちにとって最適な学びのあり方)

→ 学びの「新しい当たり前」を共に創る

パートナー

城村会長「学校と保護者の関係について」

(以前) 学校まかせ

(今) 多様な声

不安

あきらかに

まちがっている

と思う声のうらに

相手があるかもしない

全部聞くには

子どものことなど

冷静になれないことも

先生から

事務連絡から車座で話せるような場づくり

全体で話せない一旦あわれたあのゆるり場

時間が少ない

中学校は保護者代表が司会をすることも

(PTA) やくわるのはうれしい

先生と事前に話して決めることがある

パートナー

言葉が幸せに尽くしたとき
その幸せとおじて
みんな幸せになれる
ex) やくわのはうれしい

365日達成

異なる立場から見る

向こう側の世界を想像する
ある景色の向こうに
周囲の人たちがいる

不安

= 知らない

お互いを知る

どうやって?

お互いが
何を想い、考えているか同じことからでもストーリーを知ると
共感する力が増す

どうやって?

ex) 不登校の子

答えたいしょに探そう。見つけた答えを正解にしていこう。

→ 子どものために、いっしょに答えを探していく。

→ 話を聞きつつも
必ずしも「答えなくていい」

※ 全てを受け入れるわけじゃない

1人じやまづかしい
1人で背負はこまない!ゆるやかに
つながりこの形なら
できる!すでにあるもの 昔からの
新しいつながり負担は
増やさない
形で!「ゼ・エ・ホ・シ・イ」じゃなく
「やりたい」を持ち寄り、合わせていく

先生→見方

共に創る

いっしょに!

<アース・レーフ>

・自己紹介

・保護者・PTAにもつくる印象

→ 実習時に…

保育者×先生の
信頼関係

大切

コミュニケーション
は大切

ます!!

保育者 PTA 先生

初回に

心の よゆうも 時間はある?

今は求められるレベルが高いかも

先生の立場が低くなってしまう

守らないと。そういう体制が大切。

立場・役割は大切

先生の人生
私生活も

大切に

学校の役割はこのあたりという想

1つにするんじゃない

1人1人のやりたいを持ちよる(自然体でいる)

強引じゃない合意形成!!

最終的には子どものこと・学びが軸になる

子どもたちの声を聞いて、なにができるかを共に考えていく

2025.8/6 信州学び円卓会議 ともつくミーティング

～長野県の教員を支え、子どもの学びを支えるために何ができるか～

子どもの学びをトコトコ支えるために、教員の荷を下さる

自己紹介

+ チェックイン
[先生たち大変そうだな…]

行事
進路指導
不登校の子どもへの支援
登下校指導
評価・成績
部活動
調査
地域活動の準備
アンケート
会計業務
指導の仕方

子どもたちが明るく元気に学ぶために
多くのみなさんと一緒に新しい学びを
つくりていきたい。そのためにも
学校(先生)の負担感を軽減し、
地域の大人と一緒に支えていく
ことが大切。



長野県知事
阿部 守一

インスピレーショントーク

長野県の学校の働き方改革の現状について

・仕事への満足度高 (教員向けアンケート・子どもの学びをトコトコ支える県民の会)

↑
・事務作業多・保護者の懸念への対応

・教職員の増員による学校規模縮小を望む(予算があれば…)

・受けたい研修の日程が合わない

・子どものために尽力しているか、業務の多忙化

・「やめよ」とする方針の議論
(学校・教師が担う業務に係る3分類)
→「できない」と言えない・多義に及ぶ個別対応

基本的には学校以外か
地域と
担う業務
地域と
コ-ディネーターと

つなげる

支える

広げる

先生 PTA 大学生
CS 行政
保護者 議員
地域 フリースクール

多様な仲間と
いっしょに
アクション!

わたしを
主語に
ちがいを
楽しむ!
安心して
話せる

作戦会議セッション①【共に創りたい未来】

作戦会議セッション②【未来に向けたアイデア】

教師もゆきり自分の時間を確保①

→仕事の優先順位・カエル会議・慣例を見直す!

連携していくよ

CS(コミュニティスクール)としてもと
学校と繋がりたい

地域活動は地域と計画

地域のリソースを活用!
地域がかつて支える

変化を保護者も理解することが大切
(窓口・説明)、教育委員会を設置する中間教育を増やす

通知表…

主体的に

子どもの自己評価できる
システムを!

自由進度など

学びのあり方

宣言も大切!

こうします!

応援団

サポートのしくみ化

ボランティア

部活動の地域移行や

担当の先生の勤務を柔軟に

×時間外の対応

×時間外の対応

会計のキャッシュレス化/公会計化

調査を減らす!(オンラインも活用)

校長会と教育長で協議して方針決定

必要とするサポートの洗い出し(日常のちょっとしたことも)

学力とは何か?仲間と考える!

そのため
先生が元気でいられること

頑を合せて、みんなで話し合い、実行していく

×6D
どうせダメだ
でも
だって
できない
どうしよう
(もう)ダメだ

たれかといっしょに。

方法はちがっても、同じゴールへ!

コミュニケーションの設置

地域の方とのつながりを
深める

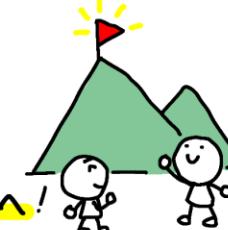
ギャラリートーク + 宣言シート

子どもたちのための働き方改革

あたたかく
熱い話合い
ができる

困り感と
できることを

発信して
いきたい!



2025.9/24 信州学び円卓会議 ともつくミーティング

(子どもの学びをトコトン支える県民の会(9月3日))

学びの「新しい当たり前」を共に創る

テーマ

学校における働き方改革
(教員の荷を下ろすには?)



第2回開催

みんなで
つくる
安心して
アイデア
わたしが
できること
わたしを
主語

全体インフォット

(教育委員会事務局教育政策課) ⇒

ネットワーキング

伴走支援

ウェルビニシティ実践校
TOCO-TON
欠員解消

クループワーカ②

学校のことを
もっと知りたい!
助け合いたい!

↓
フローをつくる!
何人・何をいほしい?
(お手伝い連絡網)

↓
しくみを回るための余裕が大切!
(校内の体制)

↓
年間スケジュールの見直し
そして子どものことを
語り合える時間を

↓
地域リリースもかうため
学校ごとの
設定が大切!

↓
再創造!!

一旦やめてみる試行の一歩!! も

みんなで解決する必要

保護者との
関係性

対話

文科省三分類

より良い
関係のため
関係を
大切にする
コミュニケーション

調査
学校訪問のあり方

地域ぐるみで

何をしたらいい?
(お願ひする!)

見守りや
防犯にも!

安心・居心地

(来校者のみなさまへ)

△メリット・デメリット

やめる

へるのは
ありがたい!!

勇気

(行事の精選・通知表)
(テスト)

△見せるため

○子どもの学びのため

△見せるため</

2025.11/30 信州学び円卓会議 ともつくミーティング

今日のゴール

フリースクール・居場所団体と保護者団体が対話し、お互いの考え方や立場を知ることで相互理解を深め、「一人ひとりの子どもを支えるためできること」を考えること



「PTA講演会」で「不登校」は0件
夢・情報モラル・多様性など
→ YouTube
→ 本日の努力不足?
→ これは、学校の先生対象のアンケートからは
出できづらい
→ 本当に(デジタルデバイス?)受験のアレッシャー?
→ 本日の要因はどこにある?
→ 2024年の1000人当たりの
不登校は全国6位
→ いっしょに考える
→ だれが考える?
→ だれが当事者?
→ その子の問題
→ もっと広い地域や
社会そのもの
→ 分
→ 教育・社会の広い価値観・問題である



負担・在存意義・デジタル化のあり方
課題
→ 長野県PTA連合会
→ 権利の義務
→ 多様化と柔軟性
→ いっしょに働く
→ 保護者は教育の主体
→ 協働の原則
→ いっしょに働く
→ 権利がある
→ 何のため?
→ 教育基本法
→ 在存のものでなく
→ 不完全に対する寛容さ
→ できることを
→ どちらがいいか
→ 100%できなくて
OK
→ 空気とは目的
(その場の)
→ 何のための
目的でPTAは集まっている?
→ 1年経ねて
→ 「幸せだった」とともに言い合えるように
→ 1つの痛みを
上回る
→ 先生へのメッセージ
→ 先生が喜びやすいことを
代わりに伝える

ワーク (それぞれの想い・不登校の現状や実態に対して、保護者と一緒に聞いていくには?・できそうなことは?)

未来をこれから生きる

→ 子どもたちと共に考えていく
→ それそれが楽しいと思うのを
これまでの考えも変わっていく
(アップデート!!)

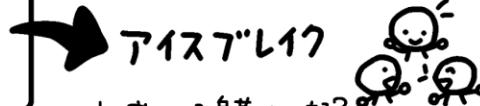
大人も「大人同士で
1ヶ所でなく 話し合う場」
人としてたくさんの
場でつながっていける!
(友だち)

大人は?
地域の場や人
→ いつも選択肢があることを伝える
→ どんな
居場所がいい?
→ 不登校になる前が
苦しい
→ どうしたら...
→ こんな所があるよ
→ 少しずつ共通の想いに...
→ 少しずつ
→ 子どもの声も
→ 社会を小さくしていく

（共に倉りる）

(フリースクール・居場所団体×保護者団体)

つなげる・支える・広げる



変わいくともつく
ための一歩

実は感じている息苦しさがある?

アイスブレイク

実は感じている息苦しさがある?

アイスブレイク